

4.2 貧酸素の年間発生日数の分布状況

1) 2mg/L 未満の発生日数

瀬戸内海において底層DOの日平均値が2mg/L未満の発生日数について、メッシュ別濃度ランク図を作成した。底層DOの最低値とほぼ同様の結果となった。

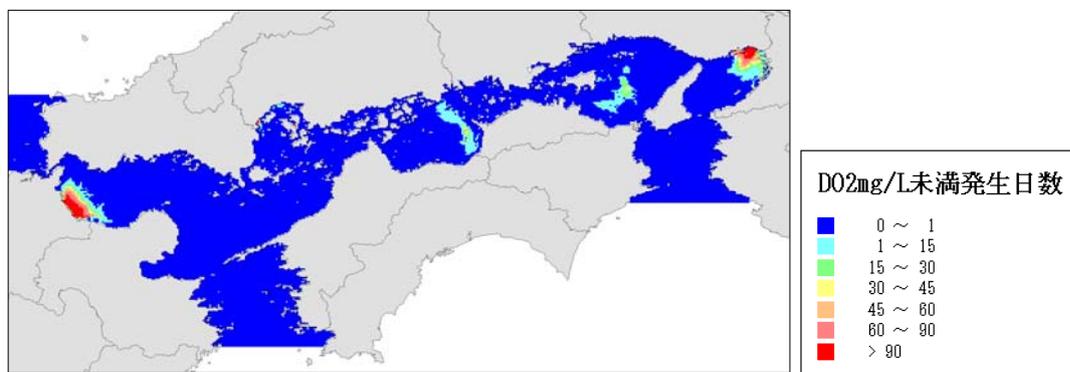


図 4.7 平成 16 年度における底層DO2mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 1）

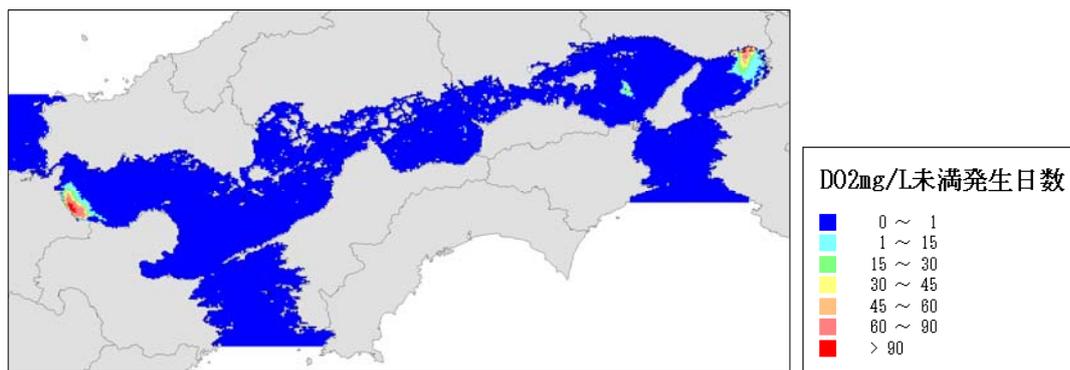


図 4.8 平成 21 年度における底層DO2mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 1）

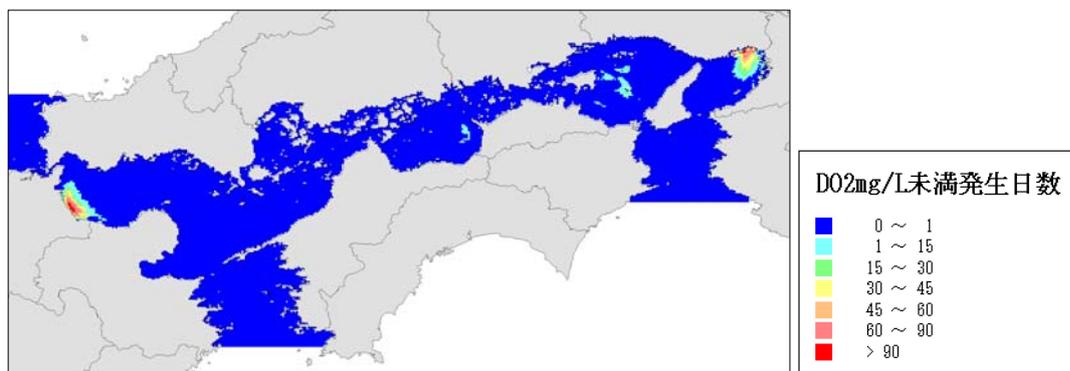


図 4.9 平成 25 年度における底層DO2mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 1）

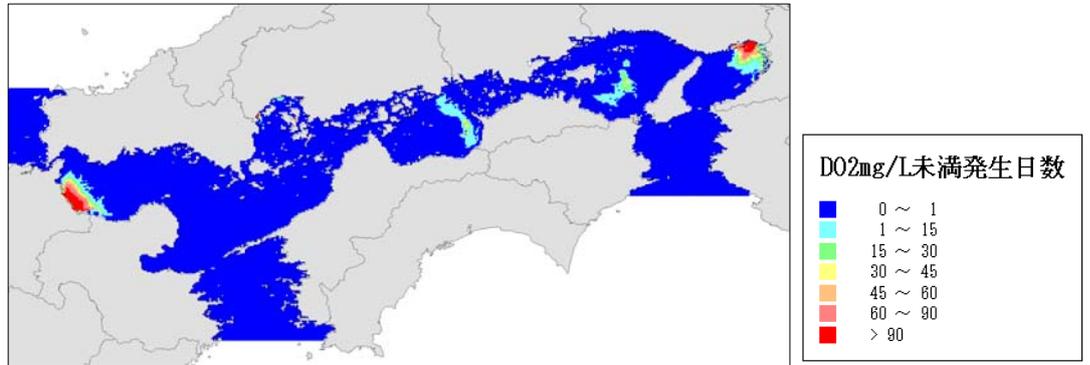


図 4.10 平成 16 年度における底層DO2mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 2）

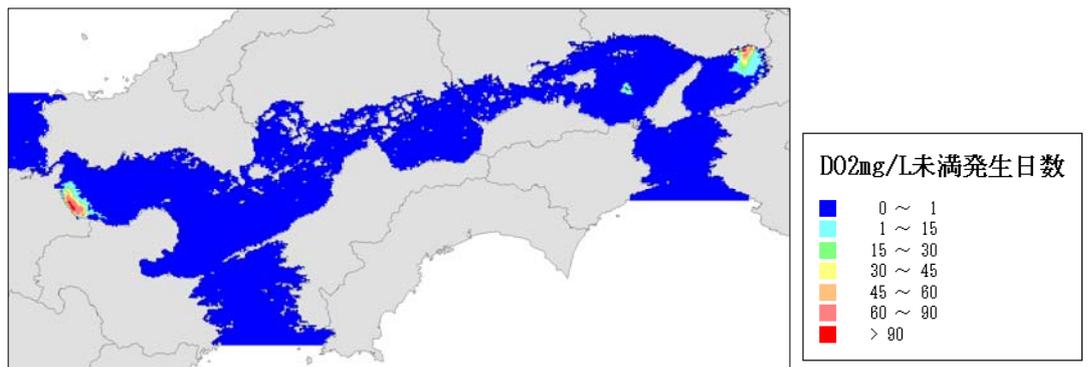


図 4.11 平成 21 年度における底層DO2mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 2）

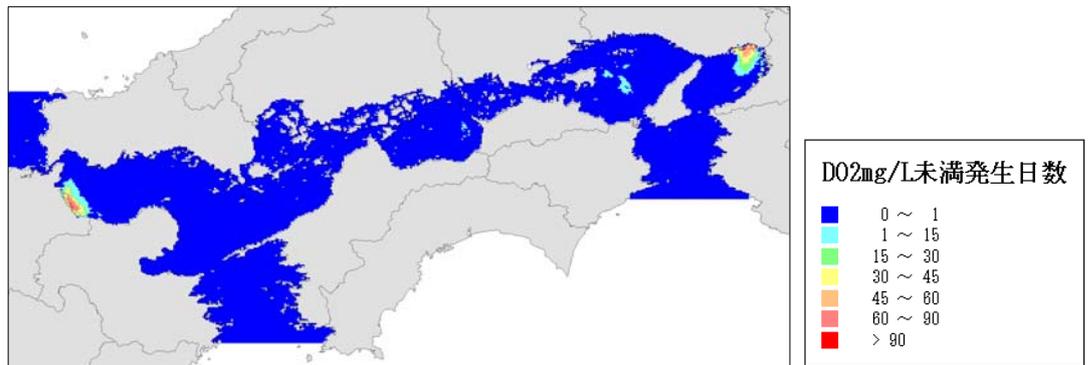


図 4.12 平成 25 年度における底層DO2mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 2）

2) 3mg/L 未満の発生日数

瀬戸内海において底層DOの日平均値が3mg/L未満の発生日数について、メッシュ別濃度ランク図を作成した。

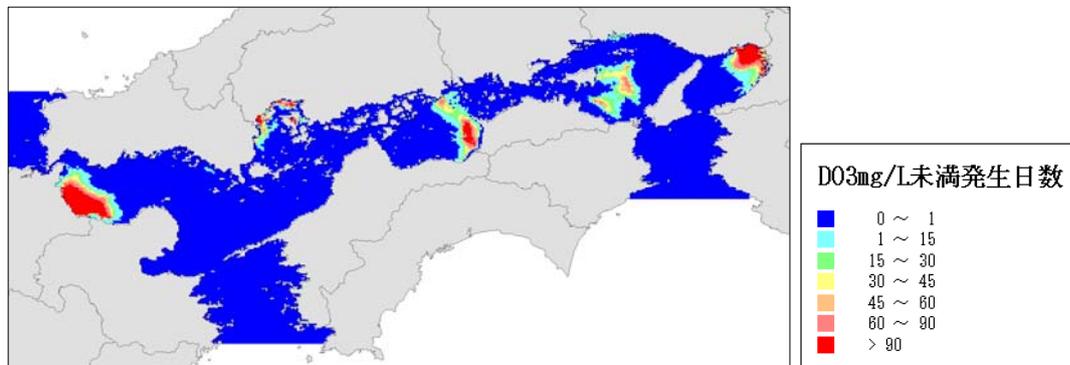


図 4.13 平成 16 年度における底層DO3mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 1）

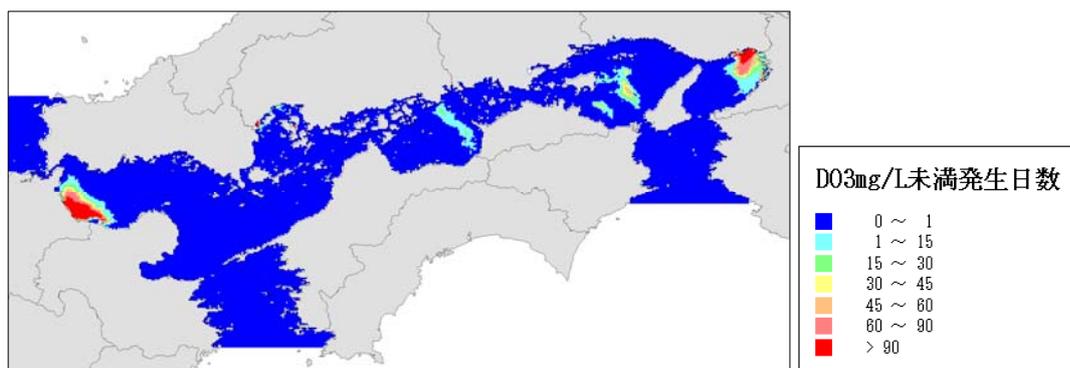


図 4.14 平成 21 年度における底層DO3mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 1）

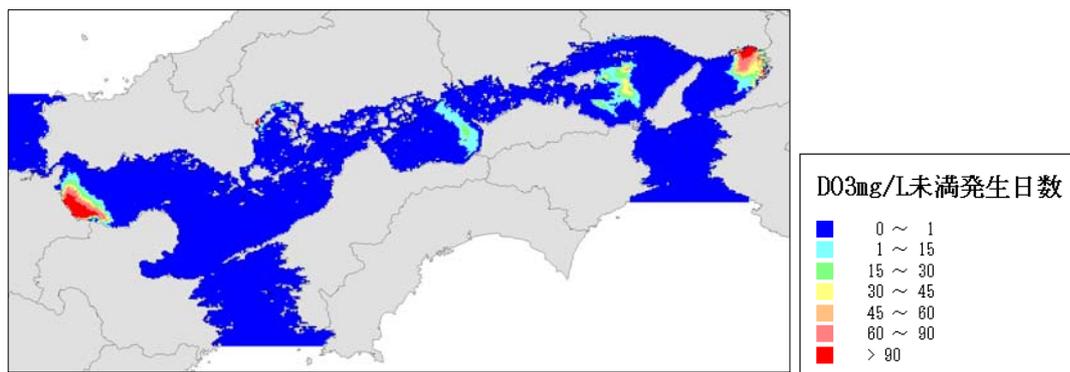


図 4.15 平成 25 年度における底層DO3mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 1）

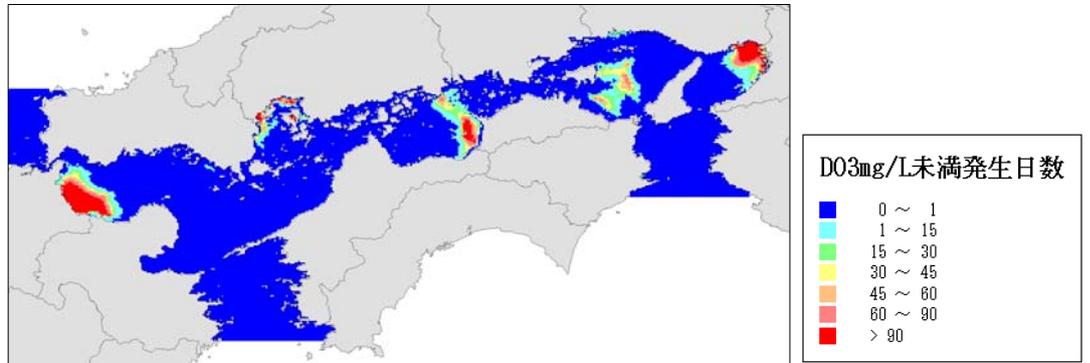


図 4.16 平成 16 年度における底層DO3mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 2）

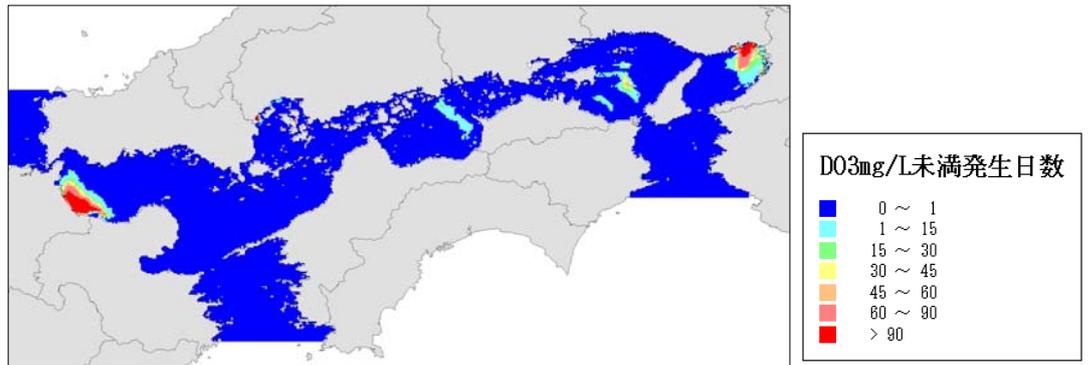


図 4.17 平成 21 年度における底層DO3mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 2）

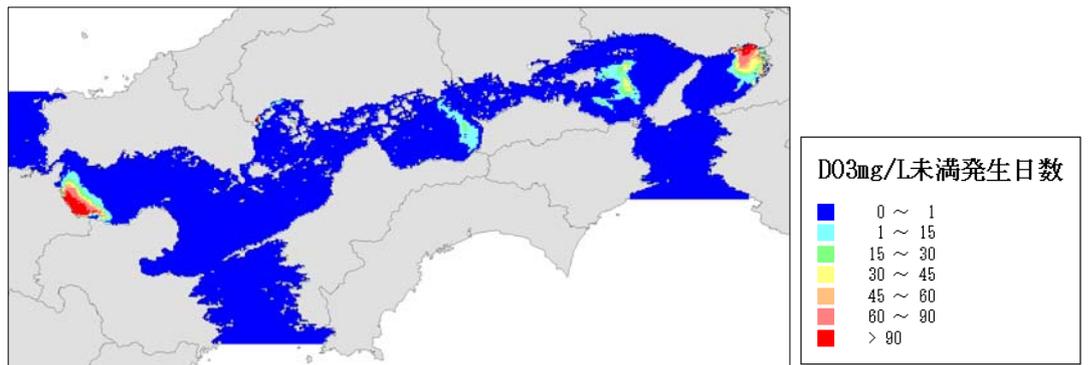


図 4.18 平成 25 年度における底層DO3mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 2）

3) 4mg/L 未満の発生日数

瀬戸内海において底層DOの日平均値が4mg/L未満の発生日数について、メッシュ別濃度ランク図を作成した。

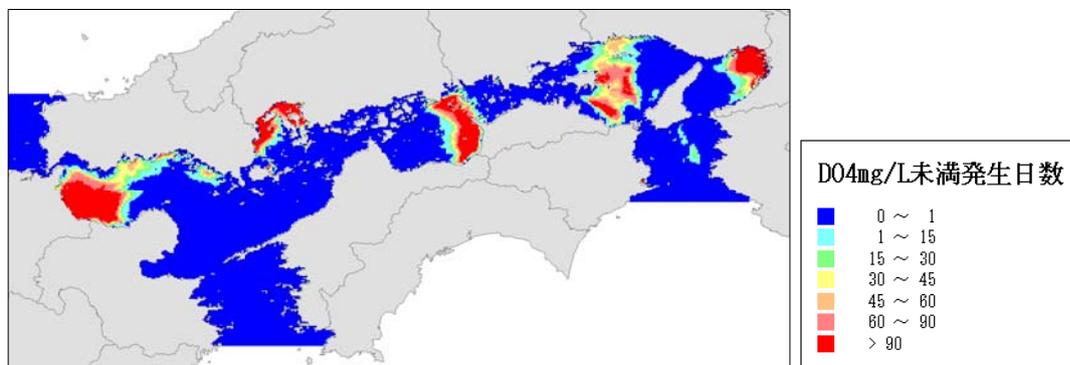


図 4.19 平成 16 年度における底層DO4mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 1）

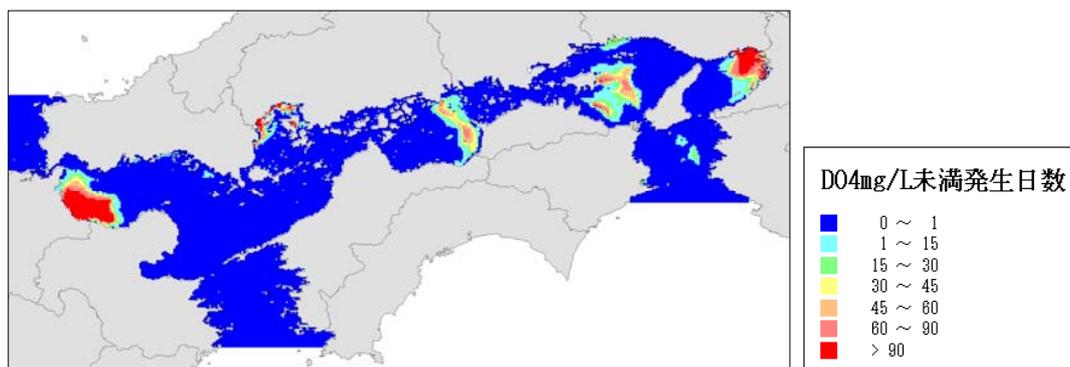


図 4.20 平成 21 年度における底層DO4mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 1）

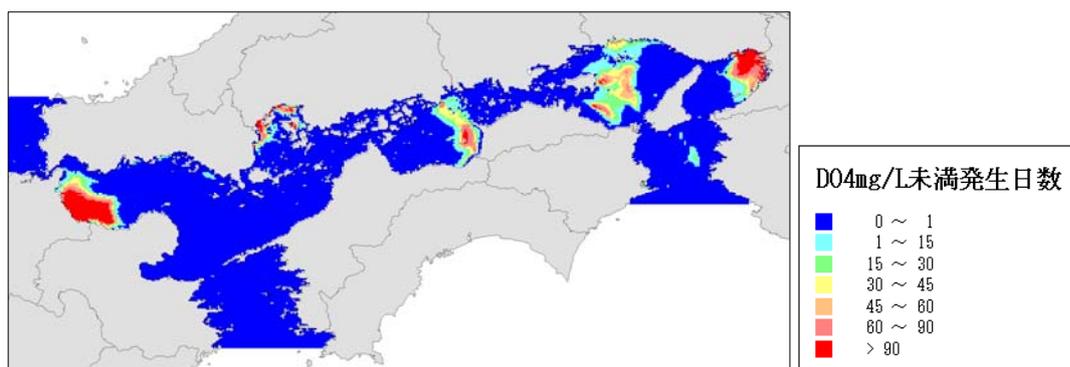


図 4.21 平成 25 年度における底層DO4mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 1）

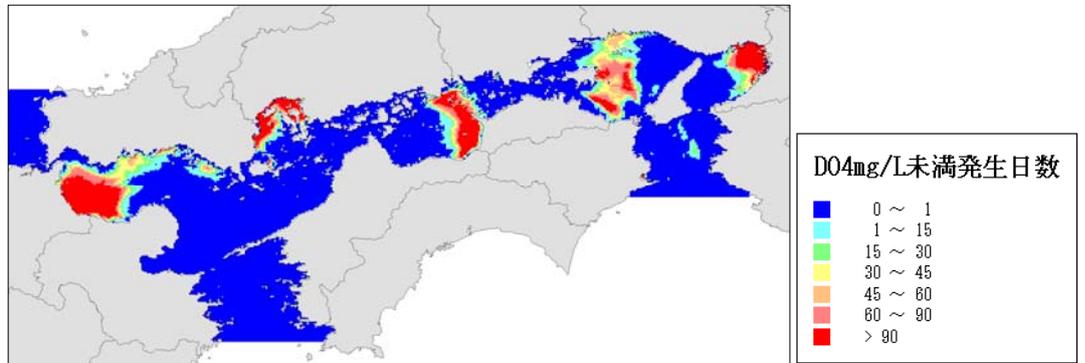


図 4.22 平成 16 年度における底層DO4mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 2）

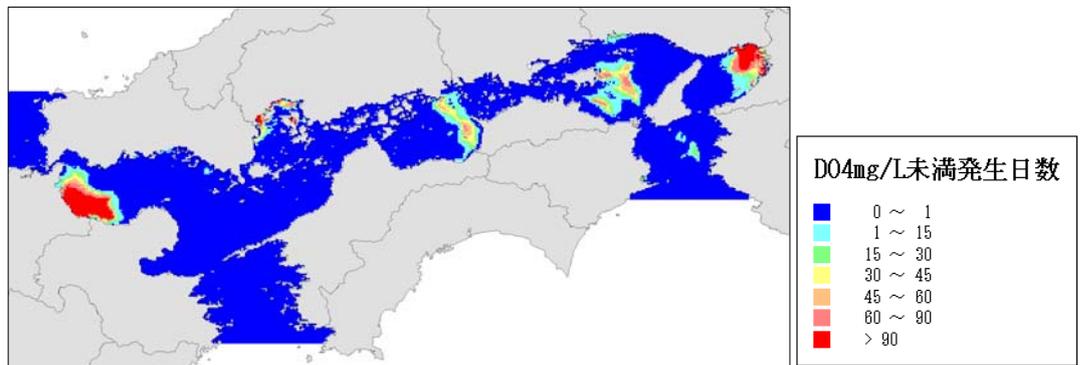


図 4.23 平成 21 年度における底層DO4mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 2）

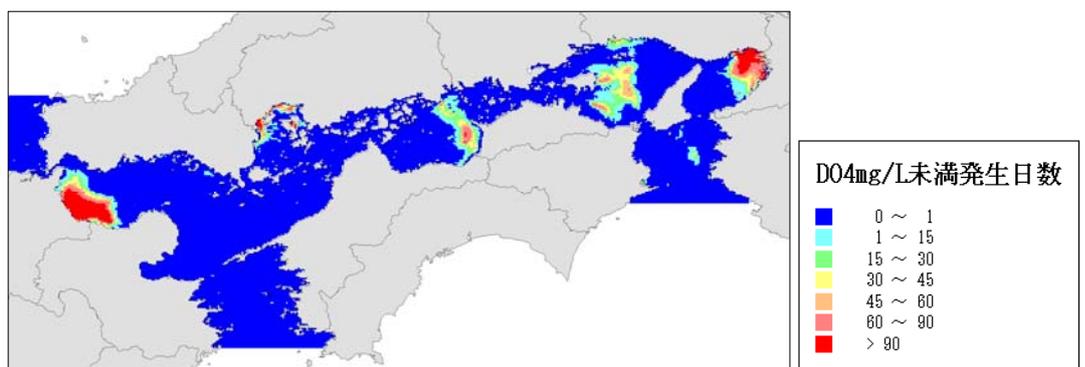


図 4.24 平成 25 年度における底層DO4mg/L 未満の発生日数の分布状況（ケース 2）

4.3 貧酸素水塊発生日数及び面積の推移

1) 貧酸素水塊発生日数

瀬戸内海において底層DOの日平均値がそれぞれ2mg/L、3mg/L、4mg/L未満の発生延べ日数について、推移グラフを作成した。平成16年度から発生日数が減少している様子が分かる。

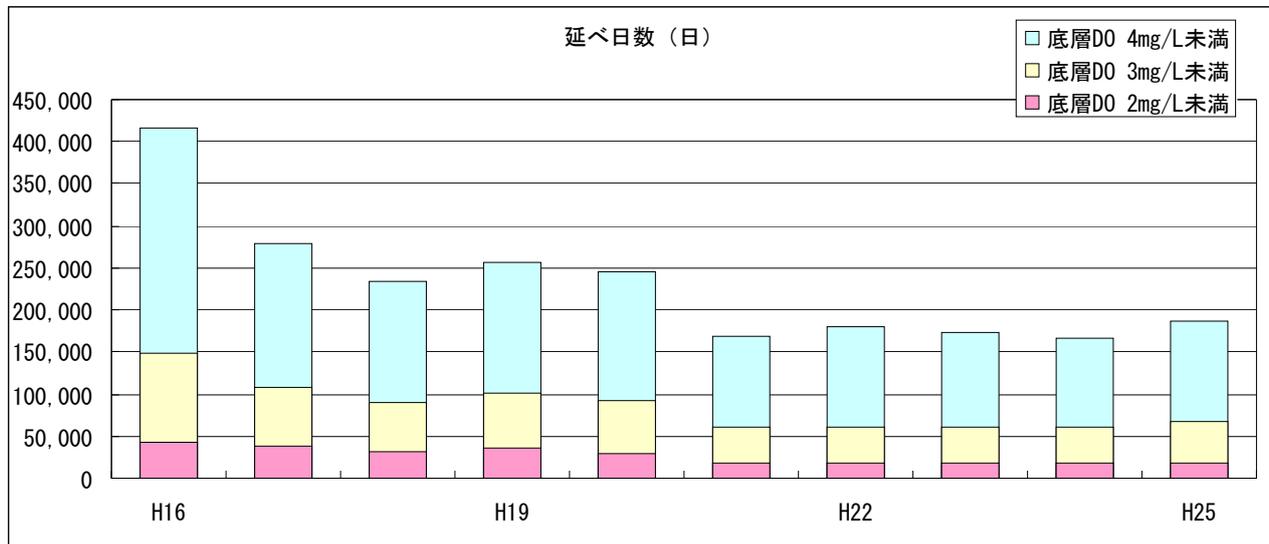


図 4.25 貧酸素水塊発生延べ日数の推移 (ケース 1)

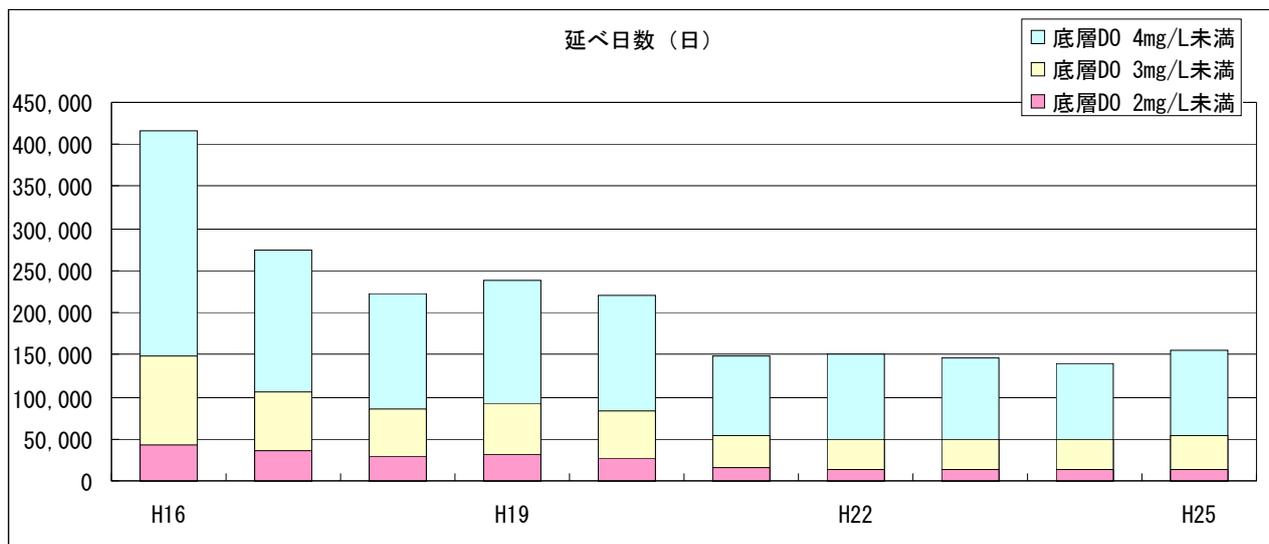


図 4.26 貧酸素水塊発生延べ日数の推移 (ケース 2)

2) 貧酸素水塊発生面積

瀬戸内海において底層DOの日平均値がそれぞれ2mg/L、3mg/L、4mg/L未満の発生延べ面積について、推移グラフを作成した。

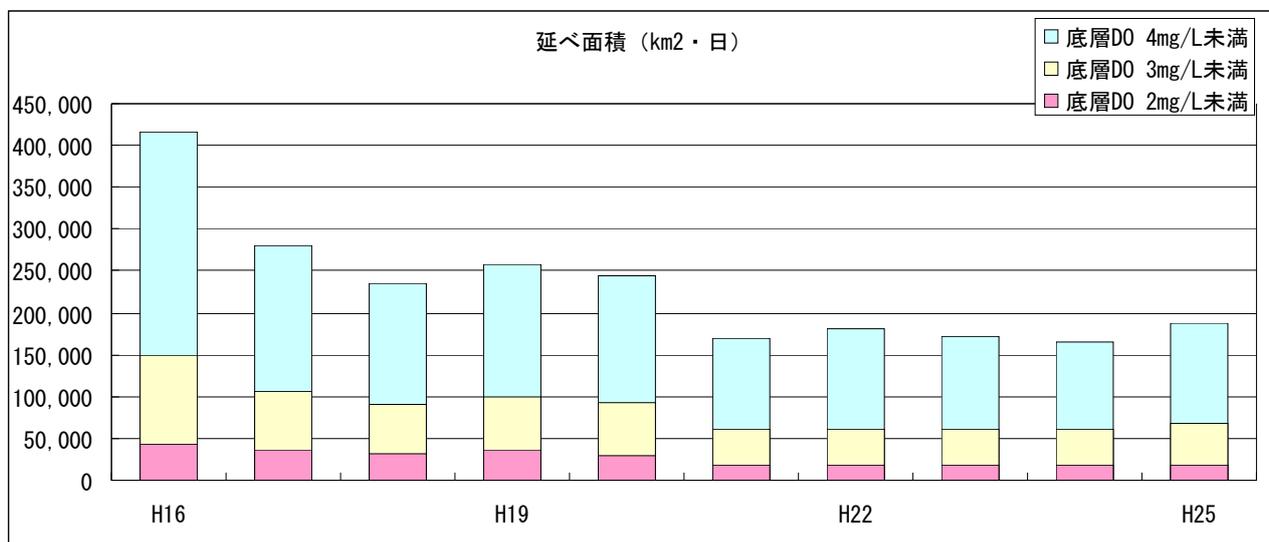


図 4.27 貧酸素水塊発生延べ面積の推移 (ケース 1)

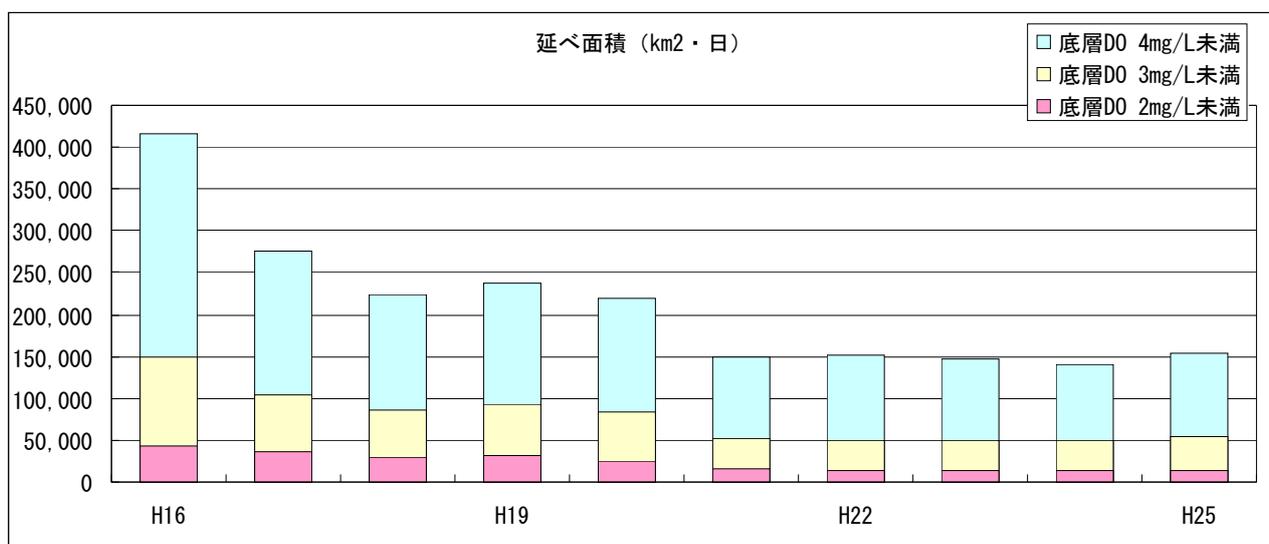


図 4.28 貧酸素水塊発生延べ面積の推移 (ケース 2)

5. 透明度

5.1 夏季平均値の分布状況

瀬戸内海における透明度の夏季平均値の分布状況について、メッシュ別濃度ランク図を作成した。大阪湾、広島湾の透明度が低いが、改善傾向が見られる。

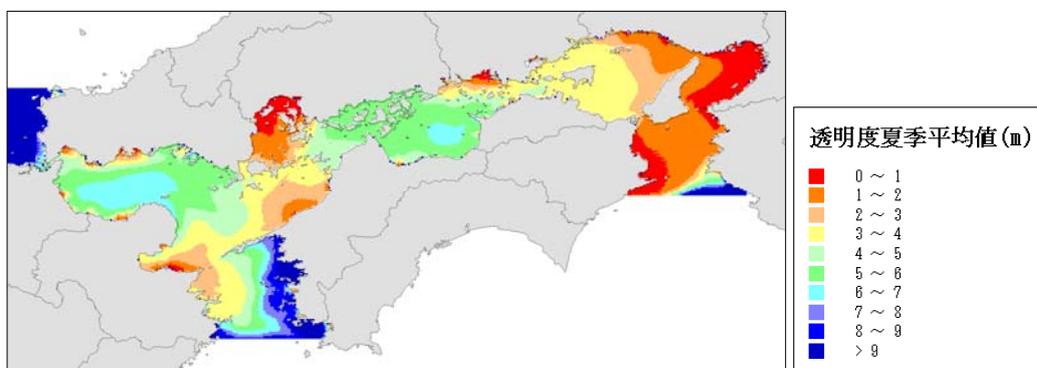


図 5.1 平成 16 年度における透明度夏季の分布状況 (ケース 1)

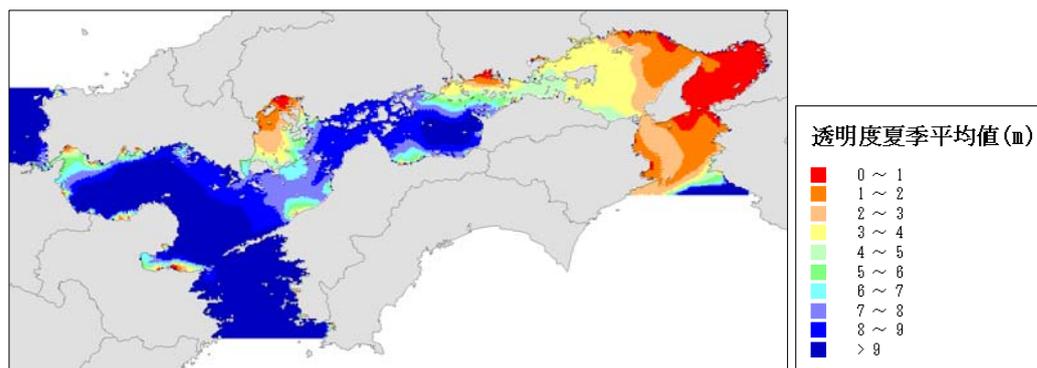


図 5.2 平成 21 年度における透明度夏季の分布状況 (ケース 1)

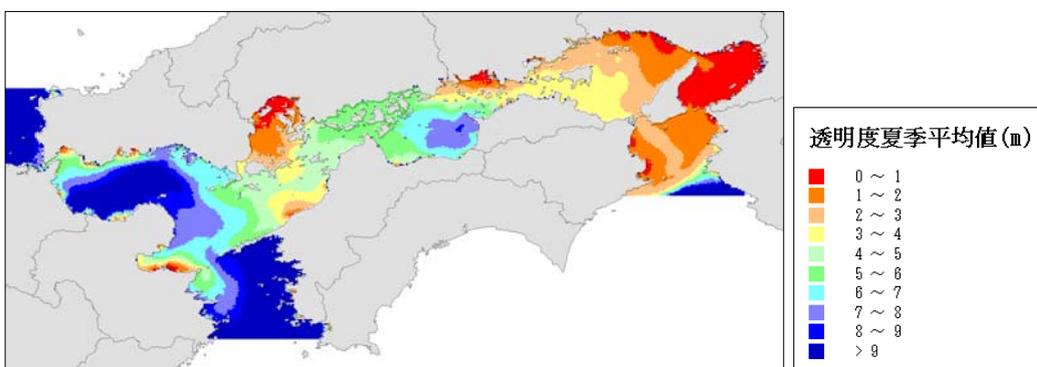


図 5.3 平成 25 年度における透明度夏季の分布状況 (ケース 1)

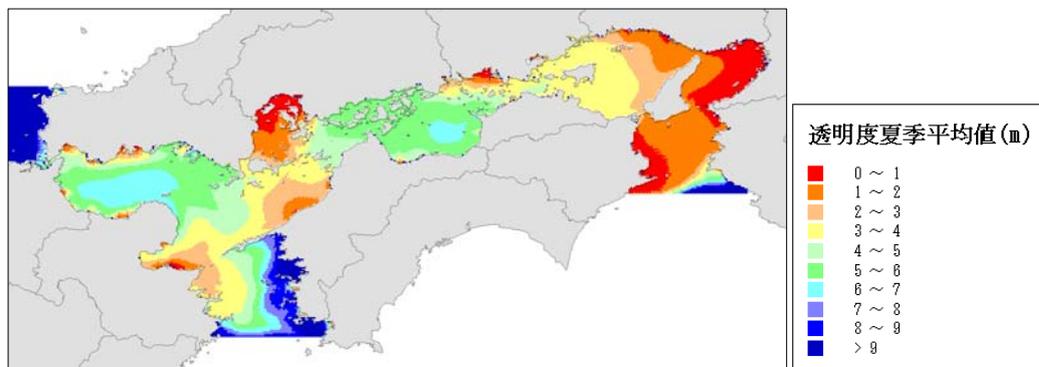


図 5.4 平成 16 年度における透明度夏季の分布状況 (ケース 2)

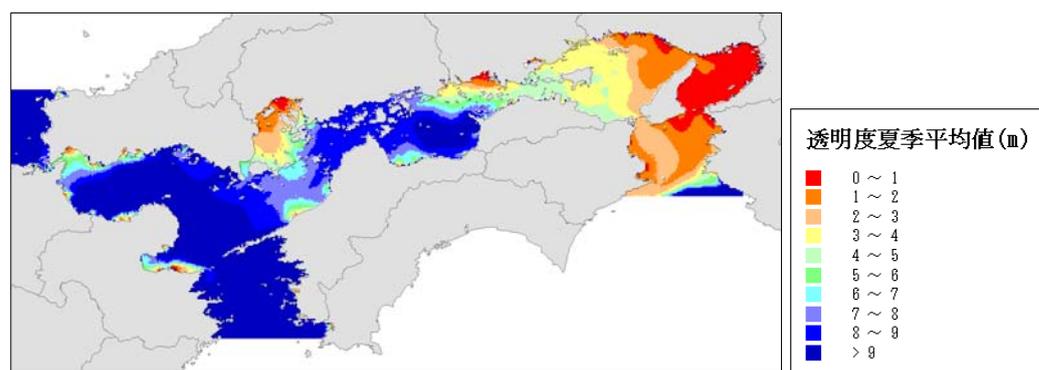


図 5.5 平成 21 年度における透明度夏季の分布状況 (ケース 2)

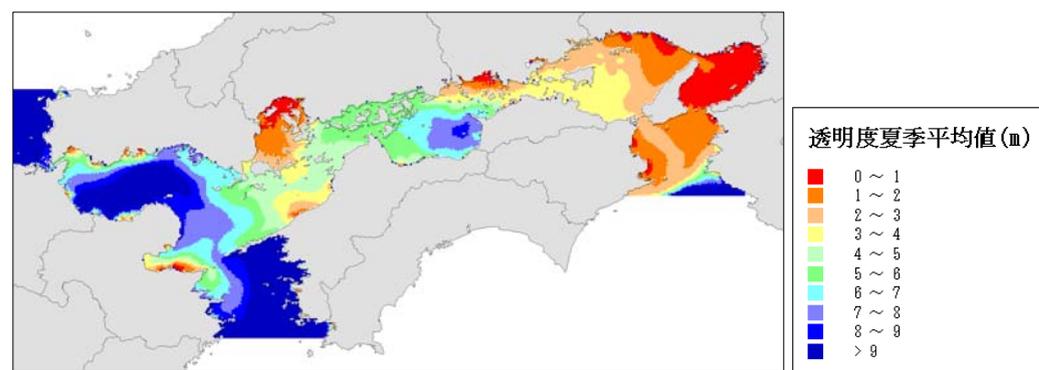


図 5.6 平成 25 年度における透明度夏季の分布状況 (ケース 2)

5.2 冬季平均値の分布状況

瀬戸内海における透明度の冬季平均値の分布状況について、メッシュ別濃度ランク図を作成した。夏季とは逆に大阪湾で悪化傾向が見られる。

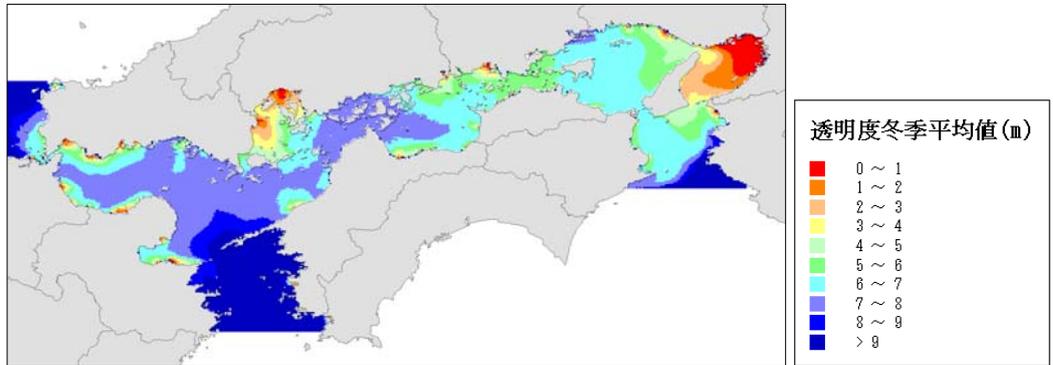


図 5.7 平成 16 年度における透明度冬季の分布状況 (ケース 1)

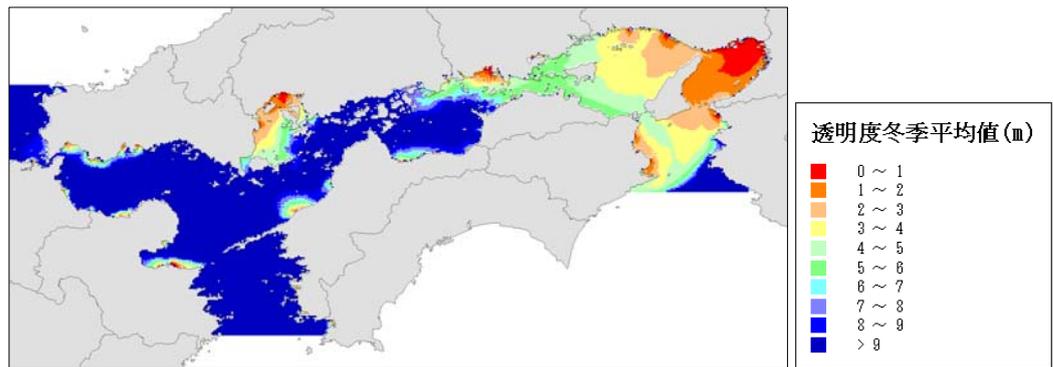


図 5.8 平成 21 年度における透明度冬季の分布状況 (ケース 1)

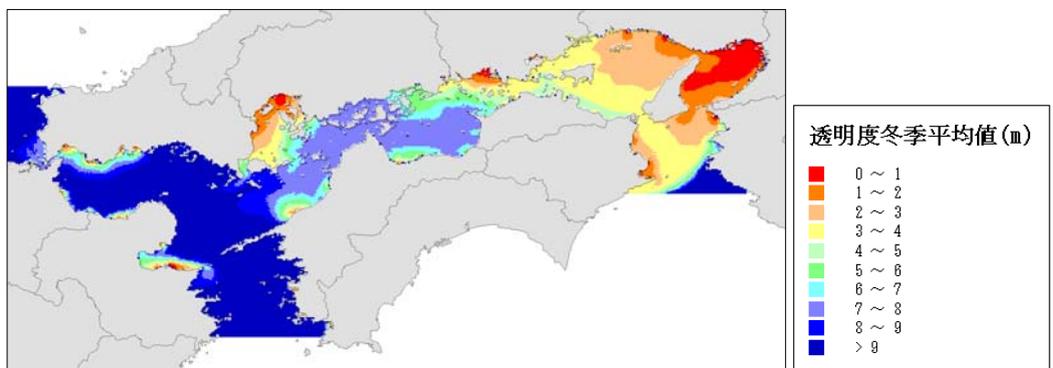


図 5.9 平成 25 年度における透明度冬季の分布状況 (ケース 1)

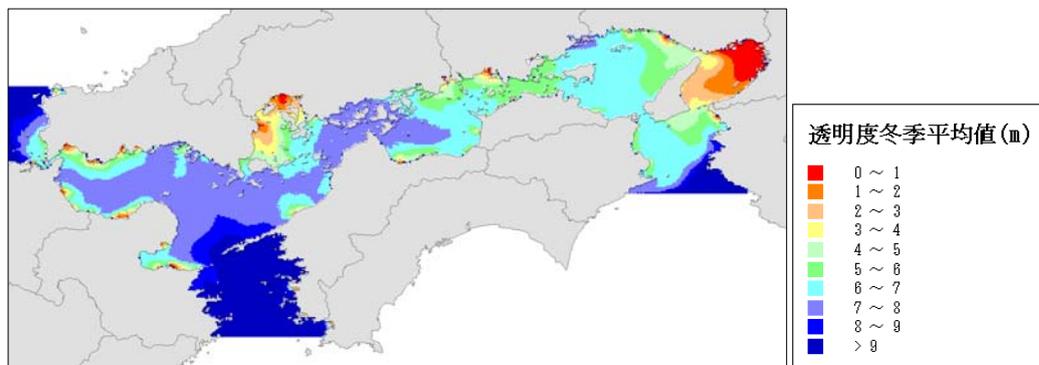


図 5.10 平成 16 年度における透明度冬季の分布状況 (ケース 2)

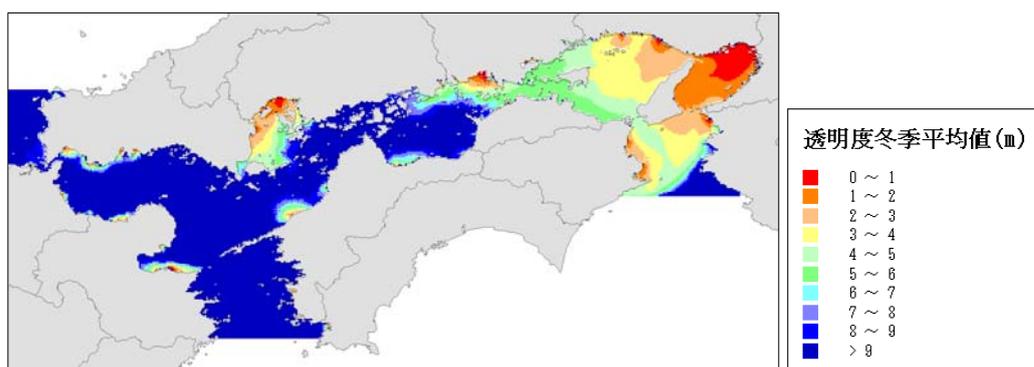


図 5.11 平成 21 年度における透明度冬季の分布状況 (ケース 2)

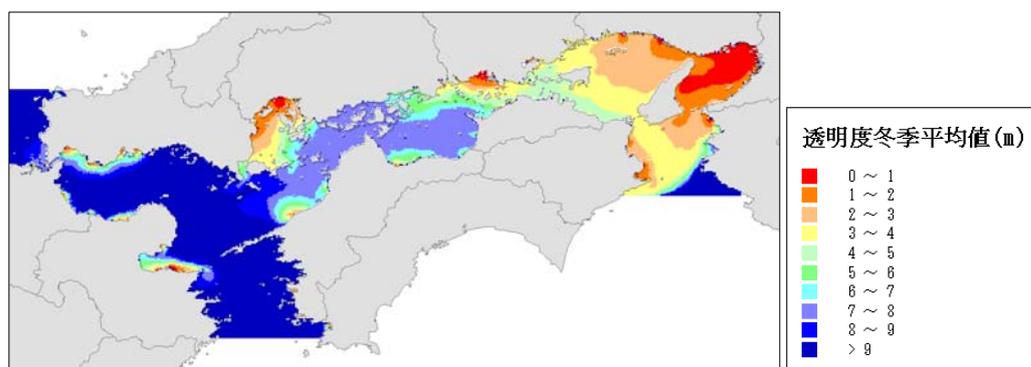


図 5.12 平成 25 年度における透明度冬季の分布状況 (ケース 2)

6. 海域ブロック別水質遷移図

瀬戸内海を紀伊水道、大阪湾、播磨灘、備讃瀬戸、備後灘・燧灘、安芸灘、広島湾、伊予灘、豊後水道、周防灘および響灘の11ブロックに区分し、ブロック別及びブロック別評価地点別の水質遷移図を作成した。



図 6.1 瀬戸内海における海域ブロック（紀伊水道、大阪湾、播磨灘）



図 6.2 瀬戸内海における海域ブロック（備讃瀬戸、備後灘・燧灘）



図 6.3 瀬戸内海における海域ブロック（安芸灘・広島湾・伊予灘・豊後水道）



図 6.4 瀬戸内海における海域ブロック（周防灘・響灘）

6.1 ブロック別水質遷移図

何れの海域、項目とも概ね改善傾向にあることが分かる。

1) COD

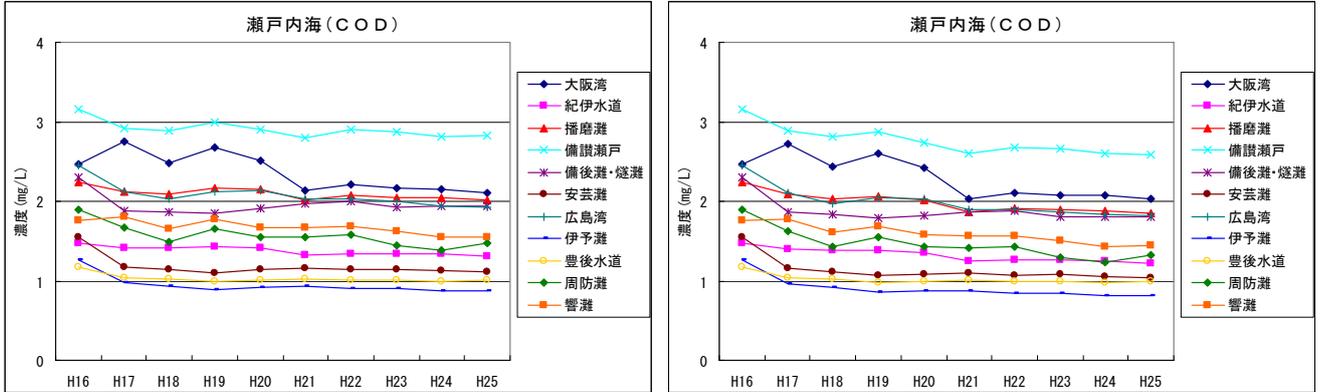


図 6.1 海域ブロック別COD推移 (左：ケース1、右：ケース2)

2) T-N

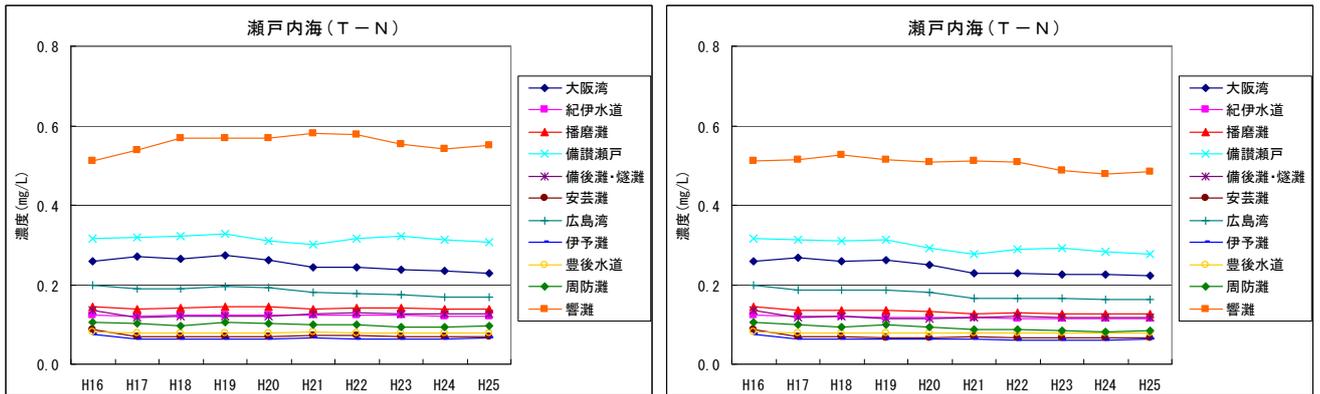


図 6.2 海域ブロック別T-N推移 (左：ケース1、右：ケース2)

3) T-P

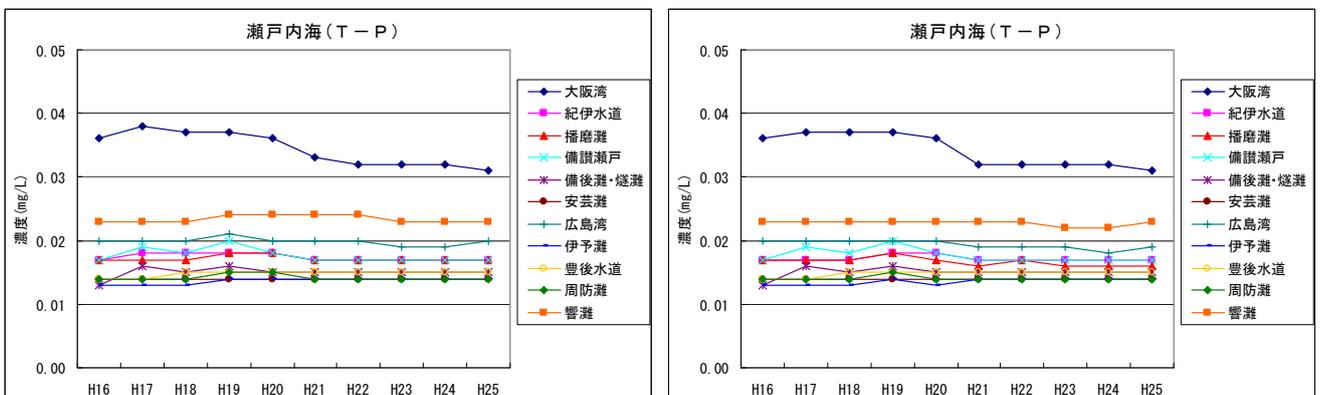


図 6.3 海域ブロック別T-P推移 (左：ケース1、右：ケース2)

4) 底層DO

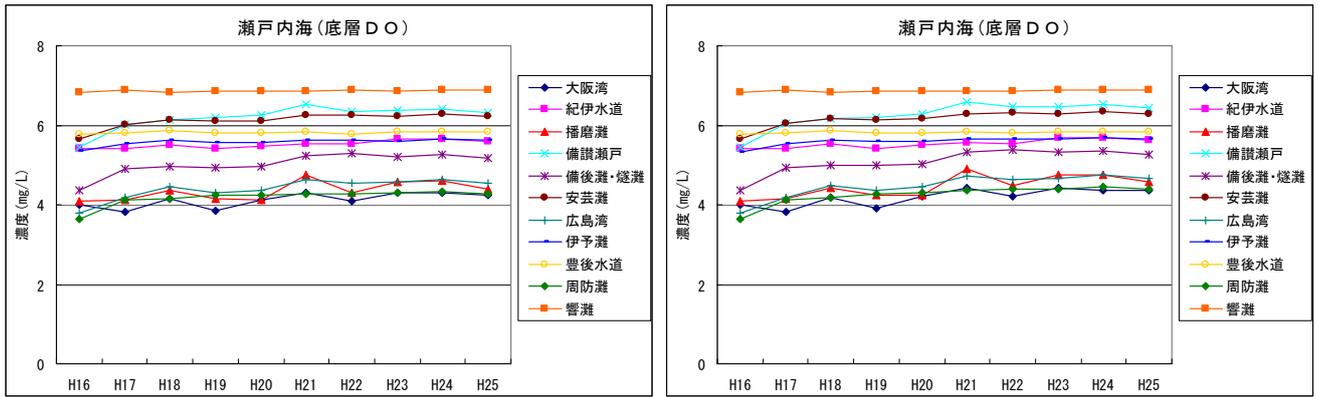


図 6.4 海域ブロック別底層DO推移 (左: ケース1、右: ケース2)

5) 透明度 (夏季)

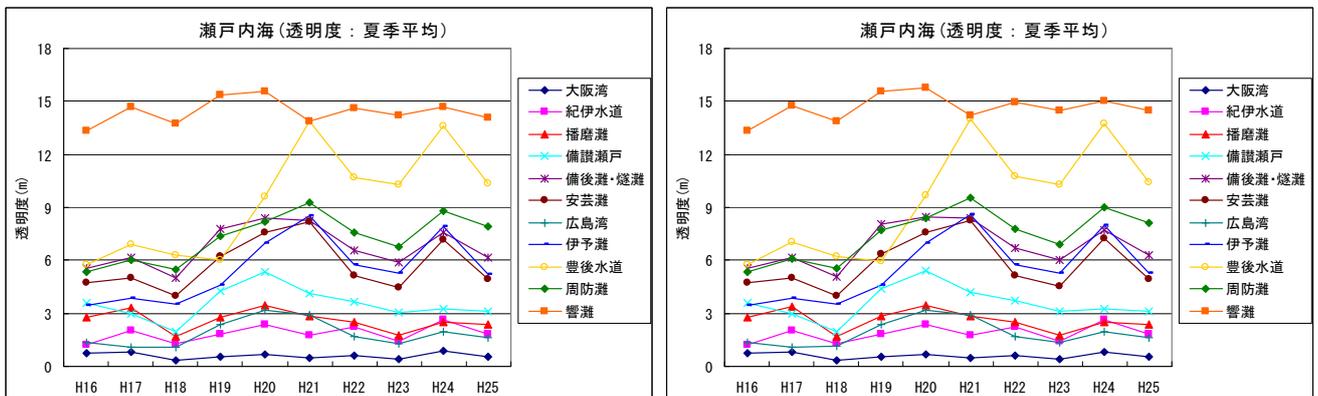


図 6.5 海域ブロック別透明度 (夏季) 推移 (左: ケース1、右: ケース2)

6) 透明度 (冬季)

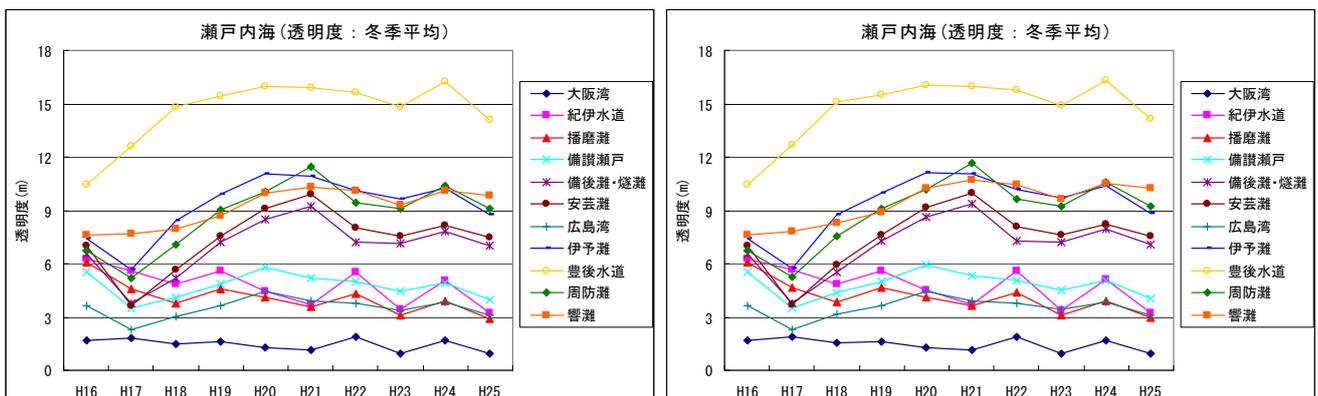


図 6.6 海域ブロック別透明度 (冬季) 推移 (左: ケース1、右: ケース2)